

平成25年度 京都文教大学 教員免許状更新講習一覧<秋期>

申込受付期間：平成25年9月8日(日)～17日(火)【先着順】

2013.7.1

※現在、文部科学省に申請中の講習一覧です。正式な講習一覧は、認定後公表します。

<必修領域>教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携教育についての理解に関する事項

講習No.	講習の日程	講習の名称	講習の概要	対象職種	主な受講対象者	担当教員	定員
H11	10月26日(土) ～ 10月27日(日)	教育の最新事情(中等教育)	「教職についての省察」、「子どもの変化についての理解」、「教育政策の動向についての理解」、「学校の内外での連携協力についての理解」の4つの領域に関する教育課題について、最新の状況や動向を元に、学校教育全体からの視点と中学校・高等学校の現場に絞った専門的視点から読み解く。主な受講対象者は中学校及び高等学校教諭とする。			中村 博幸 竹口 等 吉村 夕里 島田 香 田中 亨胤	100人
H12	10月26日(土) ～ 10月27日(日)	教育の最新事情(初等教育)	「教職についての省察」、「子どもの変化についての理解」、「教育政策の動向についての理解」、「学校の内外での連携協力についての理解」の4つの領域に関する教育課題について、最新の状況や動向を元に、学校教育全体からの視点と幼稚園・小学校の現場に絞った専門的視点から読み解く。主な受講対象者は幼稚園及び小学校教諭とする。			中村 博幸 竹口 等 田中 亨胤 張 貞京 河合 由里	150人

<選択領域>教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項

講習No.	講習の期間	講習の名称	講習の概要	対象職種	主な受講対象者	担当教員	定員
U21	11月9日(土)	学校教育での芸術療法(カラーージュ療法)の利用	カラーージュとは、雑誌やパンフレットなどの既成の絵や写真をはさみで切って、台紙の上で構成し、糊で貼り付けるシンプルな方法で、教育・医療・福祉・矯正分野で広く用いられている。本講習ではカラーージュ制作実習を通じて方法を学び、教員自身が自分でその効果を確認する。また、この体験をもとにして、生徒の作品をよりよく理解できるようにする。生徒とのコミュニケーションとして芸術療法が利用できることを学んでいく。	教諭 養護教諭	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭	森谷 寛之	50人
U22	11月9日(土)	子どもとかわる身体	教育者が人的環境であることは周知のことである。子どもが身体で訴えている何かを感じると同時に、安心できる雰囲気を出し対応できる教育者の身体性について検討したい。具体的には、身体で他者と響きあうこと・つながることを実感するために、ゲームや身体表現遊び(幼稚園・小学校低学年向け)を行う。さらに、講義においては、エピソードなども手がかりに、身体コミュニケーションに纏わる問題の検討につなげる。	教諭	幼稚園教諭 小学校教諭	本山 益子	36人
U23	11月10日(日)	幼稚園と小学校での学校事故への法的対処方法	近時学校現場では、園児・児童が様々な事故に遭遇しています。この状況に教師が直面した場合に心がけていただきたい法的な事項があります。そこで、学校内で事故が発生した場合のスムーズな対処のために、具体的な事例を用いながら講義を通じてこれらを解説します。	教諭	幼稚園教諭 小学校教諭	樺 博行	40人
U24	11月16日(土)	教師と子どものためのメンタルヘルス	幼・小・中・高校時代は、様々な対人関係を通して社会性を身につけながら、一方で「自分らしさ」という個性を形成していく心理的課題に満ちた時期です。この時期には、身体的・社会的にも大きな変化をともない、精神的不調が起こりやすくなります。本講習では、この時期に子ども達が直面する様々な心理的課題や精神的不調、そして子ども達を育み守る教師自身のメンタルヘルスについて、その理解と具体的な対応・援助を学びます。	教諭 養護教諭	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭	平尾 和之 松田 真理子	200人
U25	11月16日(土)	授業と学級経営の相乗効果で子どもの可能性を伸ばす	よい学級は、子どもが生き生きと過ごし、自分の可能性を伸ばしているという実感をもっています。そのような学級を創り出すための、授業や学級マネジメントの方法を紹介します。現場から生じるさまざまな問題、教師の悩み等をふまえて、理論だけでなく現場ですぐに役立てられる実学を修得することを目的としています。学級経営と授業を関連させていくことで、相乗効果が得られることを、事例をもとに解説します。	教諭	小学校教諭	大前 暁政	70人
U26	11月17日(日)	中学校と高等学校での学校事故への法的対処方法	近時学校現場では、児童・生徒が様々な事故に遭遇しています。この状況に教師が直面した場合に心がけていただきたい法的な事項があります。そこで、学校内で事故が発生した場合のスムーズな対処のために、具体的な事例を用いながら講義を通じてこれらを解説します。	教諭	中学校教諭 高等学校教諭	樺 博行	40人
U27	11月17日(日)	教員としてのコミュニケーション能力を高める	教員のコミュニケーション能力を問う。コミュニケーションは、人間関係の始まり、関係の構築・維持・発展の全てに関わる。児童・生徒、教員、保護者、地域との関係等、教員のコミュニケーション能力は重要で、求められるのは、話し方だけでなく、聞き方、相手の受けとめ方、非言語の理解法等、多様だ。コミュニケーション能力が如何なるものかを知り、自分の能力の問題点に気づき、自分のあり方を補正して行けるよう進めたい。	教諭	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭	森川 知史	150人
U28	11月23日(土)	言語活動例を生かした国語科授業	国語科は各教科領域等の言語活動の充実を推進する重要な役割を担っています。本講習では、言語活動例を生かした国語科授業の理論と実際について学びます。今求められている読書活動と関連づけた国語科指導について解説します。言語活動を取り入れた単元構想を、具体的な指導の展開例や評価について考え合い、国語科の授業改善につなげます。	教諭	小学校教諭	山本 早苗	30人
U29	11月23日(土)	組織と個人のマネジメント 一生徒の元気が出るクラスづくりのためにー	「組織と個人」の調整の問題は「組織行動論」の名のもとに、一定の研究成果が蓄積されている。この知識は、企業組織であろうと、学校組織であろうと、組織リーダーには不可欠である。この講習では「組織と個人」の問題、とくにモチベーションやリーダーシップのあり方を理論的に整理して、「クラスと生徒」の調整および教員のリーダーシップ強化や生徒のモラルアップ強化に役立てることを目標とする。	教諭	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭	渡辺 峻	50人

U30	11月24日(日)	「活用型」学力を育む算数科の授業づくり	「算数的活動」と「記述表現活動」をキーワードに、「活用力」を育てる授業の理論と実際について実践的に学びます。習得と探求を関連づける「活動」による授業改善について具体的に学びます。「算数的活動」について、実際の活動を体験します。算数科における内的活動と外的活動双方に目を向け、両者をつなぐ学習指導法「ふきだし法」について解説します。	教諭	小学校教諭	亀岡 正睦	30人
U31	11月24日(日)	子どものこころからだを育む「運動あそび」	子どもを取り巻く環境の諸問題を「健康領域」の視点から掘り下げていく。幼児教育の現状と課題、改善の方向性としてあげられている「幼児の運動能力の低下、消極的な取り組みの姿勢、言語表現力や集団とのかわりの中で自己発揮する力不足や、さまざまな体験・経験不足。」等、これらのことを踏まえた「運動あそび」の保育理論と保育実践を融合させ、より具体的事例を挙げながら講義と実技を展開し実施する。	教諭	幼稚園教諭 小学校教諭	原田 健次	50人
U32	11月30日(土)	表現療法を通じて学ぶ子どもの自己理解と心身調整	本講習では、心理的、身体的にハードな児童生徒の学校生活を安定的に過ごすための一助として、児童生徒自身がそれぞれ自分自身を見つめ、自己理解を深め、同時に、心身のバランスを自己調整する基本を、描画表現、気功による身体表現などを通して、体験的に理解できるようにします。また、教師自身の体験的理解をもとに児童生徒の生活上の自己理解と自己調整を促進する手立てを学びます。	教諭 養護教諭	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭	濱野 清志	50人
U33	11月30日(土)	「子どものこころ」を育む関わり	子どもは、こころの内側にそれぞれの「生きたイメージ世界」を持ちながら、外の世界を感じ、外在する大人や友人達との関係を形成していきます。教師はそのような子どもの成長を育みますが、教師自身への気づき（自己覚知）が、子どもを育む上で大きく影響します。本講習では、音楽療法や絵画療法の手法を用いながら、「子どもを育む関わり」と「養育者自身への気づき」のうちそとについて、リレーワークショップ形式で学びます。	教諭 養護教諭	幼稚園教諭 小学校教諭 養護教諭	柴田 長生 堀内 詩子	20人
U34	12月1日(日)	指導困難な事例への「処方箋」の作成	初等・中等教育において、教師は様々な指導困難事例に遭遇する。子どものメンタルヘルス不全だけではなく、生活指導上の問題、保護者対応の問題、学校内外の連携の問題など多岐にわたる。こうした事例に対応するために、認知行動的介入を利用した柔軟な対応策作りとその実施が役立つと考えられる。本講習では、この対応策を「処方箋」と名づけ、具体的な事例を複数例提示し、グループワークを通して問題対応の具体策を作成する。	教諭 養護教諭	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭	佐藤 安子	25人
U35	12月1日(日)	比較考古学への誘い～世界のトイレと風呂を比較する～	私たちが当たり前だと思って繰り返している習慣。毎日のように湯船につかりお風呂に入る。トイレを使用する時には必ず鍵を閉めて外に気配を感じられないようにして使用する。こんな生活習慣を日本人はいつからするようになったのであろうか。世界に広がる遺跡の発掘調査によって、意外な事実が明らかになってきた。本講座では高等学校までの教育ではほとんど触れられることのない生活・文化史の一側面を考古資料から辿ってみることにする。	教諭	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 (社会科系科目)	山中 章	50人
U36	12月8日(日)	教員のアセスメント能力を高める	本講習では教育現場でも使えるアセスメントをテーマにし、なかでも図表を用いたアセスメントと描画を用いたアセスメントを取り上げます。前半は、簡単な図表を用いて状況や状態を把握する方法を紹介し、その後の具体的な対応策についても学びます。後半では、描画によるアセスメントとして実際にバウムテストを体験します。自身の体験および理論や事例をもとに、描画にどんな意味があるのか、描画から何が読み取れるのかについて検討します。	教諭 養護教諭	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭	島田 香 三田村 仰	30人
U37	12月14日(土)	不登校家族支援ノート	不登校は、「これまでの生き方、価値観では生きることが難しいので、立ち往生し、自分に見合った新しい生き方、考え方を発見しようとしている時期」である。また、学校担当者と協力しつつ、親を支援することにより、親が安定すると、家族の雰囲気(家族配置)が安定し、子どもの変容を促進する。今回は、約40年臨床実践してきた経験をもとに、親と子の変容プロセスを分類し、それぞれについて説明していきたいと考えている。	教諭 養護教諭	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭	今井 皖弐	30人
U38	12月14日(土)	気付きの質が高まり、学ぶ意欲が育つ生活科学学習の展開	生活科の教育原理を踏まえ、気付きの質を高め、学ぶ意欲を育てる生活科学学習について、理論と子どもの実際の姿から学びます。子どもに取り組みませたいという教師の願いと子どもが「やってみたい、やってみよう」という思いをすりあわせながら、探究活動の醍醐味を味わわせる指導と評価について考察していきます。	教諭	小学校教諭	寺田 博幸	50人
U39	12月15日(日)	NIE・新聞活用講座	新学習指導要領で新聞の活用が位置づけられたことを踏まえ、NIE(教育に新聞を)について、学校教育におけるNIEの意義や授業での新聞活用を解説します。また、各教科での新聞活用の仕方・授業の方法などについてのワークショップ・演習を通して、日常の授業実践での新聞の活用方法を探ります。現場の授業にすぐ役立つ内容です。	教諭	小学校教諭 中学校教諭	橋本 祥夫	40人
U40	12月15日(日)	社会保障制度の全体像をつかむ	今や社会保障の分野は極めて幅広く、制度が複雑であり、年金や医療保険、介護保険制度など個別の改正も頻繁に行われているので、社会科系科目において中学生・高校生が基本的内容を理解することが難しい。しかし、子ども達が、これから少子高齢化が進行する社会を生き抜いていこうと、我が国の社会保障制度の機能や構造を理解しておく必要がある。本講習では、児童手当・生活保護などの社会扶助、社会保険や社会福祉の基本的事柄について解りやすく解説をする。	教諭	中学校教諭 高等学校教諭 (社会科系科目)	森合 真一	30人

※講習はすべて宇治キャンパスで実施します。

※免許状の更新には、必修領域12時間及び選択領域18時間(合計30時間)の講習を受講・修了することが必要です。

※同一講習を複数回受講することはできません。今夏および昨年度と同名の講習は基本的に同一内容となりますので、履修証明書で履修済みの講習をご確認の上、お申し込みください。